2.2.9 必修科目（APM）

国際経営学部（APM）では、「経営学入門」、「統計学」、「経済学入門」、「会計学Ⅰ」、「マーケティング入門」、「金融論」、「人材と組織行動のマネジメント」、「生産管理論」、「ビジネス法務戦略」、「ビジネスエシックス」を必修科目として設定しています。さらに、深い学習と討論によりテーマについての理解や4つの学修分野の体系的な理解を身に付けるため4年間の学修の集大成となるキャップストーン科目「グローバルマネジメント（Capstone）」も必修科目として設置されています。（必修科目単位数：11科目22単位）

また、「基礎数学」および「上級数学」が必修科目（数学）として設置されており、この2科目のうち少なくとも1つを必ず修得する必要があります。

すなわち、国際経営学部の卒業要件の中に、以下の要件が定められています。

- **下記＜必修科目＞欄に記された11科目の単位をすべて修得すること（2.2.8の要件6に該当）**
- **下記＜必修科目（数学）＞欄に記された科目のうち少なくとも1つを修得すること（2.2.8の要件7に該当）**

＜必修科目＞

科目名（科目分野）	科目概要	登録	大学による履修登録時期（※1）
経営学入門（APM専門教育科目）	現代の企業とその経営について「全体の理解を得る」ことを目的とする科目です。特に、経営体や経営学の全体像の理解、専門科目の理解に必要な経営の基礎知識の習得を通じて、APMでマネジメントの領域を学ぶうえでの基礎固めをします。	自動登録	第1セメスター回生
統計学（共通教養科目）	統計学とはデータを分析・解釈し、データの特性や規則性を見出すための学問です。統計学は、様々な出来事について数量的な手法を用いて判断をするためのツールとなります。この科目では記述統計並びに解析統計学の基礎を学びます。	学生が登録	
経済学入門（共通教養科目）	経済学は、人々の経済行動、経済の仕組み、また経済政策を理解するための有用な見方を提示する学問です。経済学入門では、経済学の考え方の基本を学び、また経済学の基本的な分析手法を身に着けることにより、自らの力で経済に関する諸問題や政策を分析する力を培います。	自動登録	第2セメスター回生（※2）

会計学Ⅰ （APM専門教育科目）	会計は「ビジネスの言語」と呼ばれることもあるものであり、本科目は財務会計システムの基盤となる基礎概念やルールへの入口となっています。資産、負債、資本、収益、費用といった重要な概念について学ぶとともに、財務諸表の読み方だけでなく、その作り方について重点的に学修します。	自動登録	第2セメスター回生 （※2）
マーケティング入門 （APM専門教育科目）	今日のビジネスにおいてマーケティングはなくてはならないものです。この科目ではマーケティングの基礎知識を伸ばしていきます。期待にこたえる製品やサービスを届けるため、顧客をより理解する中心概念や手段に触れていきます。	自動登録	第2セメスター回生 （※2）
金融論 （APM専門教育科目）	金融論は、家計、個人・機関投資家、企業、そして政策当局者が最も関心を寄せる「貨幣」「投資」および「資金調達」に関する学問です。 金融論では、「貨幣」および「金融」の基本的な役割を理解し、また、銀行や証券会社などの金融機関の機能を学修することになります。金融の基礎知識を理解することは、金融分野の中級・上級科目を履修する上での前提となるとともに、将来、ビジネスマネジメントに関わる上での基盤として欠かせません。	自動登録	第3セメスター回生
人材と組織行動のマネジメント （APM専門教育科目）	なぜ成功する組織がある一方、他の組織は上手く機能していないのか？　なぜ自分の仕事に情熱を捧げる人がいる一方、他の人は仕事に嫌気を感じたり辞めたりしてしまうのだろうか？　この科目では理論や基本的原則の適応方法を提示することで、組織というコンテクストにおける人々の行動を理解し、マネジメントする方法について学修します。	自動登録	第3セメスター回生
生産管理論 （APM専門教育科目）	生産管理は生産プロセスの組織的な管理・統制です。原料、設備、コスト、在庫、日程、品質や生産技術などの計画・監視・統制が含まれます。この科目では生産管理に関する理論や概念について学びます。	自動登録	第3セメスター回生

ビジネス法務戦略 （APM専門教育科目）	法的環境は、あらゆるビジネスにおいて戦略と成功を決定する重要な役割を果たします。ビジネスの意思決定に関連する法的問題やそれに付随するリスクを理解することは非常に重要です。この科目では、ケースを用いながら法的状況の中で企業がいかに戦略を立てていけば良いのかを議論します。また、ビジネスにおける法律の妥当性、契約の役割、雇用義務、グローバル環境におけるビジネス倫理を重視した社会環境を取り扱います。	自動登録	第3セメスター回生
ビジネスエシックス （APM専門教育科目）	ビジネスの目的とは何だろうか？　社会におけるその役割とは何だろうか？　現代のビジネスのやり方において問題はないのだろうか？　政治や倫理の役割が複雑化している世界において、これらの質問を投げかけることは実務上ますます重要になってきています。とりわけ、ビジネスで成功しようとするマネジャーにとってはなおさらです。この科目では、上記の質問に対する回答を導き出すことを学生に期待します。そうすることで、学生は倫理に基づく判断をビジネス上の意思決定に統合させ、責任感を養うことができるようになるでしょう。	自動登録	第5セメスター回生
グローバルマネジメント （Capstone） （APM専門教育科目）	グローバルマネジメントはAPMのキャップストーンであり、あらゆる専攻と国際的なバックグラウンドを持つ学生によって行われる双方的かつコラボレーションを重視したコースです。ケース・スタディによって、学生は現実世界の事例や状況を見通し、自分たちが授業で学んだことや経験に基づいて意見を交換し、問題に対処できる解決策を創造することができるようになるでしょう。この科目では、仲間と協働で作業を進め、ビジネスに影響を与えるであろう問題に対して批判的に検討できるようになることを目指します。そのため、ビジネスの本質に関する今まで学んだあらゆる知識や必要とされるスキルを活かすことが求められます。	自動登録	第7セメスター回生

※1　“大学による履修登録時期”が記載されている科目については、該当する履修登録時期に大学が履修科目登録を行います。なお、該当する履修登録時期に単位を修得できなかった場合は、次セメスター以降、その科目の単位を修得できるまで大学が履修科目登録を行います。またこれらの科目について、入学基準言語と反対の言語での受講を希望する学生は、直前のセメスターに所定のフォームを通じて申請を行うことが可能です。編・転入学生や、転籍学生については、大学による履修登録時期が上記とは異なります。

※2　「会計学Ⅰ」、「マーケティング入門」および「経済学入門」の3科目については、言語科目の開始レベルによって第1セメスターにおいて自身で履修科目登録を行うことができます。またその結果、単位を修得できた場合は、必修科目の単位として認められ、第2セメスター以降大学による自動登録は行われません。

＜必修科目（数学）＞

科目名（科目分野）	科目概要	登録	大学による履修登録時期（※1）
基礎数学（APM専門教育科目）	社会科学を学ぶ上で最低限必要となる数学の素養（数式の取り扱いや作法）を磨きます。とくに、定量的な分析を行うAPM専門教育科目（金融論、経済学入門、会計学Ⅰ・Ⅱなど）で登場する、数量計算やExcel（スプレッドシートなど）といった数式処理に関連があります。本科目では、数に親しみ、数学に関する基礎的な知識や考え方、取り扱い方（リテラシー）の修得を目指します。	学生が登録	低回生で修得することを強く推奨する
上級数学（APM専門教育科目）	社会現象の規則性や仕組みを分析する科学的手法の基盤となる数学を学びます。とくに、定量的な分析を行うAPMの学修分野（会計・ファイナンス、マーケティング、経営戦略と組織、イノベーション・経済学）で登場する、ビジネス上の課題分析や意思決定に付随する数理モデル（数学の言葉を用いた定式化）に関連があります。本科目では、社会科学に係る数学的知識を深め、応用例に触れつつ、数学の技能の向上を目指します。		